

都農町地域資源マップ17班（横山、黒木、井手、小山、梶原）



①秀乃屋

麺はもちり、噛めば噛むほど小麦の甘みが広がり、出汁はほんのり甘く飲みやすい。
また、地域住民の憩いの場となっている。その店の主人は、すべてでたてにこだわっているようだった。



②三日月原神社、秋葉神社

都農南小学校の西約800mに鎮座している神社。境内は比較的小さく、植物に囲まれた、雰囲気のあるその佇まいは地元の人々に親しまれている。社殿左側には境内社の秋葉神社も祀られている。



③ヤマザキショップ

お惣菜がたくさんあり、色々な人がコロケやエビフライ、メンチカツなどを買っていた。この店主はとても親しみやすく、異常などが起きてもすぐ気づけるような回覧板のような役割を果たしている。



④三日月原公民館・三日月原開拓記念碑

終戦後、川南の落下傘部隊にいた人々がこの地に移り住み、松林などを開拓して現在の町が形成された。地域の公民館にはその歴史を記す大きな開拓の碑が建てられており、都農町の成り立ちを物語る重要な場所である。公民館によって、より開拓記念碑が親しまれている。三月原公民館は、町三日月原地区にある地域の公共施設で、都農駅から約2kmの位置にあり、コミュニティバスの停留所としても機能といった特徴を持つ、地域生活に密着した拠点である。



⑤都農南小学校

正門は昭和21年の開校当時のままである。生徒数251名（2025年度）。都農町の小学校では最も生徒数が多い。近くには、和田用水が流れており、南小一帯の田畑を潤している。



地域住民の声

- 交通の便が悪い
町内にタクシーが少なく、交通の便が悪い点が住民の困りごととして挙げられています。これは住民全般が感じている問題のようだ。
- 商店経営のやりがい
自身が営むお店に町内外から買い物客が来てくれることで生活が成り立ち、満足感と感謝を感じている。都農町に住んでいて良かった点だと述べている。

- 尾鈴山の景観
個人的に好きな場所として尾鈴山を挙げていた。自然に群生するヒメシャラ（夏椿）の木肌の美しさや、シャクナゲの群生（千本）が花の時期に見せる壮大な景観に魅力を感じている。

- 農業とワイナリーの発展
川が作り出した扇状地を活かしてブドウ栽培が盛んになり、都農ワイナのワイナリーが設立された。これは地域資源を活用した取り組みで、高山さん自身も好意的に見ている。

結論

このインタビューは、宮崎県都農町に長年住む住民の視点から、町の生活、自然、歴史に関する多角的な見解を浮き彫りにした。住民はタクシー不足など交通の不便さを認識しつつも、過去の行政施策によるインターネット環境の整備、豊かな自然（山、海、清流）、ブドウ栽培やワイナリーなどの地域資源を肯定的に評価している。特に、一宮神社の格式の高さや戦後の開拓史といった町の誇りを語る場面から、地域への深い愛着がうかがえる。総じて、都農町は課題を抱えながらも、自然と歴史、住民の努力によって魅力が形成されている地域であると結論付けられる。